

神戸空港及び連絡橋の愛称並びに神戸空港のシンボルマークの決定について

1. 神戸空港及び連絡橋の愛称について

神戸市及び神戸空港整備推進協議会（兵庫県，神戸市，神戸商工会議所などで構成）では，神戸空港及びその連絡橋が広く皆様に愛され，親しみをもって利用していただけるよう，愛称を募集しました。この度，同協議会に設置した神戸空港愛称等選定委員会における審査の結果，下記のとおり当選作品等を決定しましたのでお知らせします。当選作品については，今後，様々な広報媒体により使用していく予定です。

多数のご応募をいただき，ありがとうございました。

（1）神戸空港の愛称

当選作品（1点）

1）愛称 「マリンエア」（マリン（海））と「エア（空）」の合成語）

2）当選者 熊谷 幸平 様（岩手県）

佳作（2点）

「Air-gate Kobe」（エアゲート神戸の英文表記）

「レッソラ神戸」（鳥が飛び立つ仏語 = essor , Let s sora（レッツ空）の造語）

（2）連絡橋の愛称

当選作品（1点）

1）愛称 「神戸スカイブリッジ」

2）当選者 山口 達也 様（神戸市北区）

佳作（2点）

「神戸つばさ大橋」

「マリンプリッジ」

* 当選作品及び佳作のうち，複数の方から応募があった作品については，各作品につき抽選で1名の受賞者を決定させていただきました。

（3）経緯

愛称作品の募集期間

平成17年4月1日～4月28日

応募総数

2,715 点（神戸空港 2,476 点、連絡橋 2,463 点）

神戸空港愛称等選定委員会の開催

1) 開催日時

平成 17 年 5 月 31 日（火）15:00～17:00

2) 開催場所

神戸商工会議所 3 階「第 1 会議室」

3) 選定委員（敬称略・順不同）

神戸大学工学部教授	安田 丑作（座長）
神戸フィルムオフィス 代表	田中 まこ
三宮センター街 2 丁目商店街振興組合 理事長	久利 計一
NPO 法人 C.A.P 代表	杉山 知子
兵庫県県土整備部長	原口 和夫
神戸商工会議所専務理事	中西 均
神戸市みなと総局長	小柴 善博

2. シンボルマークについて

- (1) 神戸空港のシンボルマークについては、平成 2 年に、神戸空港建設促進協議会（当時）において別図のとおり決定され、各種の広報媒体において使用してきました。
- (2) 今回、神戸空港及び連絡橋の愛称決定と併せて本委員会にシンボルマークについてお諮りした結果、神戸市として、引き続き、本マークを神戸空港のシンボルマークとして使用していくことを決定しました。

<愛称に関する安田座長コメント>

神戸空港愛称の当選作品「マリンエア」について

「マリン（海）」と「エア（空）」の合成語で、海上空港である神戸空港のイメージにふさわしい。

簡潔で、親しみやすく、かつ覚えやすい。

語感が美しく、発展性を期待させる表現である。

連絡橋愛称の当選作品「神戸スカイブリッジ」について

空への飛翔につながる橋のイメージを的確な表現している。

神戸空港シンボルマークについて



平成2年「神戸空港レポート」(神戸空港建設促進協議会発行)より抜粋

「神戸空港は単に空のターミナルであるだけでなく、人・物・情報の交流拠点として、文字通り「神戸のゲートウェイ」にふさわしい個性豊かな「街」になることを期待されている。

シンボルマークはそうした神戸の未来への「夢」を表現するため、誰の目にも暖かみを感じさせるタッチで「飛行機」をデフォルメしたものである。」